

(様式3)

事業所名 グループホームグレイスフル日義

ユニット名 ユニット1・ユニット2

作成日: 令和 3年 7月 1日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	13	認知症に対する理解を深め、利用者様・職員の双方におけるストレスを軽減する	・研修に参加し、習得した知識を実践に活かす ・困難事例の把握と統一したケアの実施 ・利用者体験(3名)	・ユマニチュード(見る、話す、触れる)をケアの中に取り入れ実践する。実践してみて利用者様の反応にどう変化があったか毎月の会議内で報告する。 ・フロア会議にて困難事例があるか把握し、実施しているケアの内容を確認し統一化を図る。 ・他事業所(GH)へ出向き利用者体験を実施する。利用者様の立場から自身のケアを振り返る。他事業所から学んだことを自事業所に落とし込む。	12ヶ月
2	34	危険予測をしながら行動する力を身につける	・ヒヤリハット件数増加を目指す ・事故報告書への理解を深める	・一人1日1件ヒヤリハットを挙げることを目標とし、業務の中で意識して行動する。 ・事故発生時の記録・検討・対策が活かされているか、フロア会議内で過去の事故報告書を振り返る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。  
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。